

開催日時 2018年9月3日(月)～9月7日(金)
主催 特定非営利活動法人デジタル・フォレンジック研究会
会場 TKP市ヶ谷カンファレンスセンター(東京都新宿区) 他



レクチャーを主とする通常コースと実機、実ソフトを操作する簡易トレーニングコースがあります。

各コース受講の際に前提とされる知識や条件等につきましては、WEBサイトに掲載しております。ご確認ください。

開催概要(日時・会場) ※各コース内容は裏面をご覧ください

9月3日(月)	簡易	10:00～17:00	V1コース 定員15名 会場:大阪データ復旧(株)指定会場 (名古屋市内)	
9月5日(水)	簡易	09:30～17:00	Sコース 定員15名 会場:(株)フォーカスシステムズ セミナールーム (五反田)	
		10:00～17:30	Tコース 定員12名 会場:TKPスター貸会議室 銀座 カンファレンスルーム2A (銀座)	
		09:30～16:30	U1コース 定員16名 会場:東芝OAコンサルタント 浜松町会場 (浜松町・大門)	
		10:00～17:00	V2コース 定員15名 会場:大阪データ復旧(株)指定会場 (東京都内)	
9月6日(木)	簡易	10:00～17:00	Wコース 定員12名 会場:(株)FRONTEO トレーニングルーム (品川)	
		通常	09:30～12:30	Aコース / Bコース / Cコース / Dコース
			13:30～16:30	Eコース / Fコース / Gコース / Hコース
9月7日(金)	簡易	09:30～16:30	U2コース 定員16名 会場:東芝OAコンサルタント 浜松町会場 (浜松町・大門)	
		10:00～17:00	V3コース 定員15名 会場:大阪データ復旧(株)指定会場 (東京都内)	
		10:00～17:30	Xコース 定員12名 会場:TKPスター貸会議室 銀座 カンファレンスルーム2A (銀座)	
9月7日(金)	通常	09:30～12:30	Iコース / Jコース / Kコース / Lコース	
		13:30～16:30	Mコース / Nコース / Oコース / Pコース	
	簡易	10:00～17:30	Yコース 定員12名 会場:TKPスター貸会議室 銀座 カンファレンスルーム2A (銀座)	
		10:00～17:00	Zコース 定員30名 会場:TKP新橋カンファレンスセンター カンファレンスルーム4A (新橋)	

受講費

通常コース		簡易トレーニングコース	
IDF会員	¥3,000 - /コース	Sコース	¥50,000 - /名
JASA・JNSA・DRAJ・ADEC会員	¥5,000 - /コース	U1、U2コース	¥50,000 - /名
一般	¥7,000 - /コース	V1、V2、V3コース	¥59,000 - /名
		Wコース	¥50,000 - /名
		Yコース	¥80,000 - /名
		Tコース	¥80,000 - /名
		Xコース	¥80,000 - /名
		Zコース	¥55,000 - /名

お申込み

申込方法 講習会WEBページの「受講申込フォーム」よりお申込み下さい。
「受講申込用紙」でのFAXのお申込みも受け付けております。
申込フォーム(1名): <https://digitalforensic.jp/lecture-form/>

申込締切 2018年 8月 24日(金)

お問合せ 特定非営利活動法人 デジタル・フォレンジック研究会 事務局

E-Mail : info@digitalforensic.jp

WEBサイト : <https://digitalforensic.jp/>

TEL : 03-5420-1805

FAX : 03-5420-3634

通常コース

会場： T K P 市ヶ谷カンファレンスセンター

〒162-0844 東京都新宿区市谷八幡町 8 番地 J R 総武線 市ヶ谷駅 徒歩2分

A	オープンソースツールを用いたForensic デジタル・フォレンジック研究会 上原 哲太郎 氏 Autopsy / The Sleuth Kitを用いて、基本的なファイルシステム内のファイル調査やスラック領域の検索などを行います。	B 最先端のデュプリケーターによる証拠保全概論 (株)フォーカスシステムズ 新型ユニットForensic Falcon NEOによる証拠保全方法について説明します。証拠保全の基礎から分解が困難な薄型ノートPCからネットワーク経由でのデータ取得など現場の厳しい要求により激変しつつあるデュプリケーターの新しい基準も併せて説明します。
C	(仮)企業のサイバーレジリエンスの強化について (株)ブロードバンドセキュリティ 現在、最終調整のため、内容が確定次第、記載致します。 リスク分析、インシデント対応等について世界的な動向を含んで構成する予定です。	D 事例から見る民間におけるデジタル・フォレンジックの活用と課題 MYKアドバイザー(株) 民間調査におけるデジタル・フォレンジック活用の実態と、その更なる活用のための現実的な課題についてデジタル・フォレンジックサービス提供事業者の立場から、事例に基づく考察を交えてご紹介いたします。
E	クラウドの証拠保全(AWS編) (株)ラック AWSの証拠保全に初めて取り組む方を対象に、AWSの技術要素や証拠保全の各工程をわかりやすく解説します。日本におけるクラウドの利用状況やインシデント事例も紹介します。	F インシデント発生時における様々な証拠保全手法 (株)FRONTEO フォレンジック調査での証拠保全作業について、インシデント発生後の初動対応や注意点を紹介します。「Image MASStEr Solo-4 G3」を用い、実演を交えたHDDデータの証拠保全手法を説明します。
G	不正調査ツールNuixの紹介とデモ AOSリーガルテック(株) Nuix社の製品ラインナップの紹介及びNuix Investigation and responseの製品説明・デモを行います。	H X-Ways Forensics によるWindows フォレンジック入門 (株)ディアイティ X-Ways Forensicsの紹介と本製品を使用したWindowsマシンのフォレンジック調査要領を説明します。
I	インシデントレスポンスに関連する法制度 デジタル・フォレンジック研究会 北條 孝佳 氏 インシデントレスポンス対応における法制度面の理解の必要性和関連する法律及び企業が直面する事案を解説します。	J 最先端のデュプリケーターによる証拠保全概論 (株)フォーカスシステムズ 新型ユニットForensic Falcon NEOによる証拠保全方法について説明します。証拠保全の基礎から分解が困難な薄型ノートPCからネットワーク経由でのデータ取得など現場の厳しい要求により激変しつつあるデュプリケーターの新しい基準も併せて説明します。
K	AndrExによるモバイルフォレンジックの基礎習得 AOSリーガルテック(株) AOS AndrExシリーズによるAndroidスマートフォンからのデータ抽出の説明・実演をします。	L 新たな保全対象とデータ解析アプローチ(前編) ~コンピュータ、特殊装置編~ くまなんピーシーネット(株) 近年のストレージアーキテクチャやその特性についての座学と、保全方法や解析アプローチの実践を行います。 実際の鑑定事例等を交えるため官公庁の方限定となります。
M	デジタル・フォレンジックと刑事法 デジタル・フォレンジック研究会 石井 徹哉 氏 デジタル・フォレンジックに関係する刑事法上の規制を解説し、広狭様々なインシデントレスポンスで投入される手法の法的意味、限界を確認します。	N 複数拠点間での人工知能を使った解析ノウハウの共有手法 (株)FRONTEO 人工知能搭載データ解析ツール「Lit i View XAMINER」を用いたメール等の大量電子データの解析ノウハウを複数拠点間で共有する手法を紹介します。
O	AOS画像解析フォレンジックの動画復元と画像鮮明化の解説 AOSリーガルテック(株) 画像解析フォレンジックツールを用いて防犯カメラ、ドライブレコーダーで撮られた動画データのフレーム復元技術と画像の鮮明化技術について解説・実演します。	P 新たな保全対象とデータ解析アプローチ(後編) ~モバイル、IoTデバイス編~ くまなんピーシーネット(株) 破壊された端末、電源を切るとデータが消えるメモリ搭載機器などの保全手段と解析アプローチについて、座学と実践を行います。 実際の鑑定事例等を交えるため官公庁の方限定となります。

簡易トレーニングコース

S	BlackLightを用いたMac解析入門 (株)フォーカスシステムズ MacBookやiMacの保全の仕方や、BlackBag社のBlackLightの使用によるApple社の非常に複雑な構造の最新ファイルシステム"APFS"の解析を、ハンズオントレーニングで実施、紹介します。	T Macintosh Forensics 保全編 新日本有限責任監査法人 High Sierraを対象としたデータ保全に係るMacintosh 特有のフォレンジックと機能について、解説します。フォレンジック調査経験者を対象とした中級者向けコースとなります。
U1 U2	ファイナルフォレンジック 基礎研修 1日コース AOSリーガルテック(株) ファイナルフォレンジックを使用する際の基礎的知識の説明から使用方法(データ復元・分類、データの検索、メールデータの復元、システムレジストリの解析等)についてPCを使用した実習を行います。	V1 V2 V3 保全解析ツールが見逃すデータ領域をハンズオンで探る (HDD & SSD) 1日コース 大阪データ復旧(株) HDDのファームウェアを解析し、総物理セクタ数を表計算ソフトで算出することで、保全や消去処理が及ばない余剰データ領域の存在を把握。HDD動作構造の講義。データ消去後のSSDのNANDチップに残存するデータをバイナリエディタで確認。チップオフ作業はUSBメモリ使用予定。SSD動作構造の講義。
W	SNSアプリを対象としたモバイル端末の高度な解析手法 (株)FRONTEO モバイル端末の取り扱い手法と注意点をMSAB Office(旧XRY)を使って紹介します。SNSアプリを含むモバイル端末データの簡易的かつ高度な解析手法を説明します。	X Macintosh Forensics 解析編 新日本有限責任監査法人 High Sierraを対象としたMacintosh 特有のフォレンジックについて、固有のアーティファクト・解析プロセスを解説します。フォレンジック調査経験者を対象とした中級者向けコースとなります。
Y	Fast Forensics インシデント発生時における初動対応を学ぶ 新日本有限責任監査法人 インシデント対応の基礎から初動対応手順・初動対応の実施に必要な技術について解説します。適切な初動対応の実施に必要なスキル習得を目標とした初級者向けコースとなります。	Z ハッキング入門 ~攻撃者視点で思考できるホワイトハッカー入門コース~ ストーンビートセキュリティ(株) 実際に発生しているハッキングの手口や技術を実践的な演習を通して学習します。通常、3日間で行うトレーニングのダイジェスト版です。

前提とする受講対象者、知識等の詳細をWEBサイトにて掲載しております。ご確認下さいませようお願い致します。

第8回IDF講習会
WEBページはこちら

